

教室 でのZ世代

未来をつくる

JAPAN

2017年6月

調査概要

調査対象国

- 日本、米国、英国、オーストラリア、ドイツ

対象者条件

- 各国に在住するZ世代の生徒
(日本：12～18才、日本以外：11～17才)
- 各国に在住するZ世代の生徒を担当している教師

調査時期

- 日本：2017年5月26日～6月1日
- 日本以外：2016年9月26日～10月6日

調査方法

- インターネットによるオンラインアンケート調査

サンプル数/許容誤差

対象国	生徒		教師	
	サンプル数	許容誤差	サンプル数	許容誤差
日本	n=500	+/- 4.4%	n=200	+/- 6.9%
米国	n=1,007	+/- 3.1%	n=414	+/- 4.9%
英国	n=509	+/- 4.4%	n=202	+/- 6.9%
オーストラリア	n=505		n=200	
ドイツ	n=500		n=200	

A young girl with dark hair and white cream applied to her face is looking down at a book. The background is blurred, showing a green patterned object and a white wall with some text. The overall scene is dimly lit, creating a soft, contemplative atmosphere.

日本と グローバルの比較

結果サマリー1 > 創造性に対する評価

日本では、生徒と教師いずれもZ世代が「創造的」と認識していない。

- グローバルでは4割程度のZ世代が「自分たちは創造的である」、と考えているが、日本ではわずか8%に留まる。
- 日本のZ世代は自分達が上の世代に比べて創造的であるとは考えておらず、自分達が上の世代よりも創造的であると考えているグローバルのZ世代と大きな違いが見られる。

日本のZ世代は創造的であることは「特別なこと、限られた人のこと」と考えている可能性が高い。

- 自分が「将来何かを作る仕事をしている」と回答したZ世代の割合はグローバルでは7~8割であるのに対し、日本では43%に留まる。
- 日本のZ世代の約7割が「創造性が求められる仕事や職業はほんの一握り」と考えており、約8割が「創造性が求められる仕事はたくさんある」と考えているグローバルのZ世代とはほぼ真逆の結果となった。

結果サマリー2 > 授業/カリキュラムの現状

日本の教師と生徒いずれも、授業における創造性の重要性を認識しており、Z世代の指導には事実の暗記といった従来の学習法よりも、インタラクティブなツールの使用が重要であると考えている。

- 教師の72%がZ世代の指導には「インタラクティブなデジタルメディアの使用」が重要であると考えており、「事実や歴史の暗記」（58%）を大きく上回る。

しかし、実際の学習方法については「事実や歴史を暗記する」座学が中心であり、「デジタルメディアの使用」は限定的である。

- 日本の生徒の85%が「事実や歴史を暗記する」方法で学習していると回答しており、その割合は他の学習方法を大きく上回る。
- 「ビデオやポッドキャストなどのインタラクティブなデジタルメディアを使う」機会があると回答した生徒は日本では55%に留まるがグローバルでは7~8割にのぼり、教育現場でのデジタルメディアの使用に大きな差がみられる。

日本の教師、生徒共に、アクティブラーニングや実習/演習は効果的な学習方法であると考えているものの、その評価はグローバルに比べて低く留まる。

- 日本の生徒の35%、教師の52%がアクティブラーニングや実習/演習が効果的であると考えているが、その割合はグローバルを大きく下回る。

結果サマリー3 > 卒業後の将来について

日本のZ世代は、卒業後の将来について不安な気持ちであり、あまり準備できていないと感じている。

- 卒業後の将来に対する気持ちとして最も多いのが「不安な気持ち（53%）」であり、「ワクワクした気持ち」や「自信のある気持ち」が上位に挙がっているグローバルのZ世代とは対照的な結果となった。
- また、卒業後の将来に向けて準備ができていると回答した割合についても、生徒は16%、教師は31%に留まり、5~7割が準備ができていると回答しているグローバルを大きく下回る。

将来の職業について、日本は教師と生徒いずれもグローバルよりもやや保守的な見方が中心である。

- 「憧れている/目指している職業がある」と答えたグローバルの生徒は5割程度であるのに対し、日本の生徒は29%に留まる。また、憧れている/目指している職業についても、日本の場合は教師や看護師、薬剤師といった保守的な職業が目立つ。
- 「自分の生徒は今から想像できないような仕事に就くだろう」と回答している教師の割合は、グローバルではおよそ9割であるのに対し、日本では73%とグローバルを下回る。

就職におけるオンライン上の存在感の重要性についても、日本の認識はグローバルを大きく下回る。

- 将来の就職におけるネット上の行動/発言の重要性について意識している生徒の割合は、グローバルで7~8割であるが、日本では39%である。
- オンラインポートフォリオを作成している/今後作成するつもりである生徒の割合は、グローバルでは4~5割であるのに対し、日本では19%に留まる。

日本のZ世代は自分たちを「創造的」とは捉えておらず、その割合はグローバルの同世代に比べて著しく低い。同様に、日本の教師もZ世代の生徒を「創造的」と考えていない。

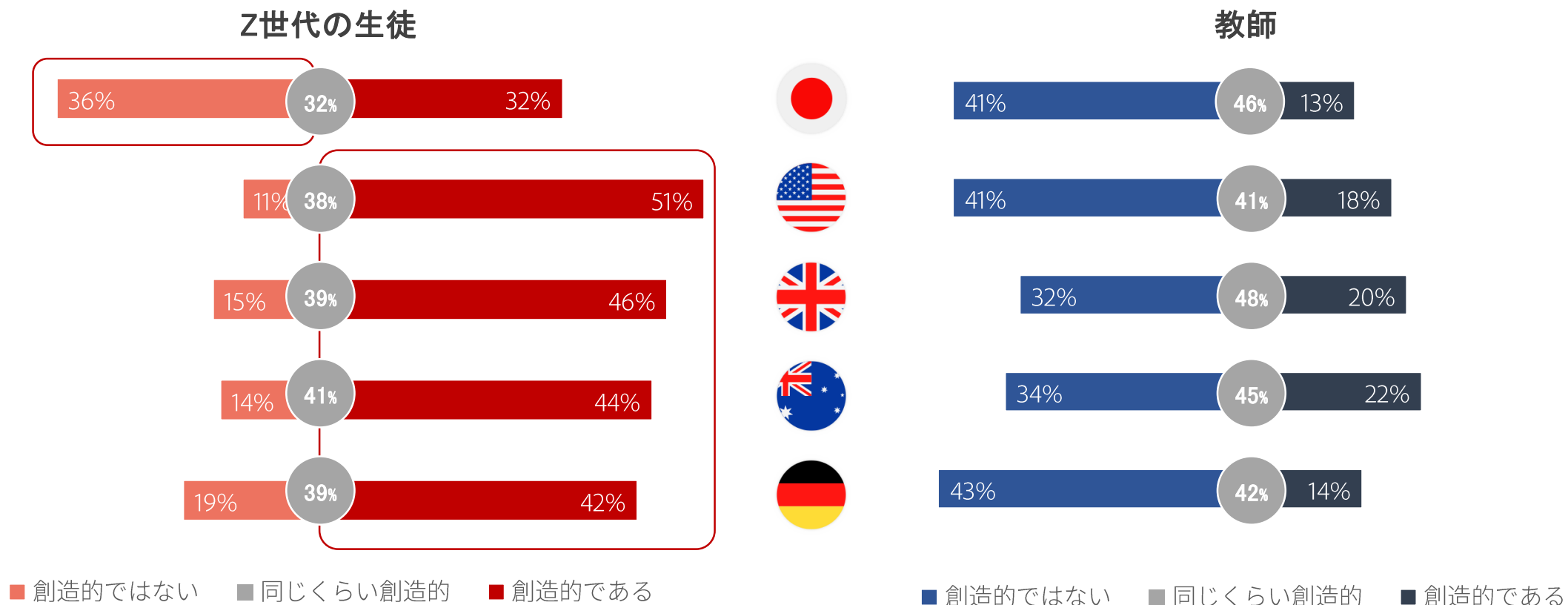
Z世代の特徴（上位5項目を表示）

	Z世代の生徒					教師				
1	はずかしがり 33%	頭がよい 63%	努力家 50%	創造的 46%	少なまけ者 45%	少なまけ者 39%	少なまけ者 76%	少なまけ者 65%	少なまけ者 74%	少なまけ者 70%
2	少なまけ者 33%	創造的 47%	協調性がある 42%	協調性がある 44%	創造的 44%	人について行く タイプ 34%	社交的 65%	社交的 51%	社交的 60%	過去のことをつ まら ないと感じて いる 49%
3	協調性がある 30%	努力家 47%	社交的 40%	頭がよい 43%	外向的 42%	将来について 不安をもっ ている 33%	過去のことをつ まら ないと感じて いる 49%	将来について 不安をもっ ている 35%	過去のことをつ まら ないと感じて いる 49%	外向的 41%
4	好奇心旺盛 22%	協調性がある 42%	頭がよい 39%	社交的 42%	頭がよい 40%	はずかしがり 29%	人について行く タイプ 30%	過去のことをつ まら ないと感じて いる 33%	自信がある 40%	社交的 30%
5	社交的 18%	好奇心旺盛 39%	創造的 37%	好奇心旺盛 37%	協調性がある 40%	協調性がある 17%	一度に複数の ことをこな せる 27%	自信がある 33%	外向的 34%	創造的 26%
	創造的 8%					創造的 2%				
						創造的 25%		創造的 27%	創造的 32%	

Q6：以下の中から（あなた/Z世代）に最も当てはまるものをお選びください。（複数回答）

また、日本のZ世代は自分達が上の世代に比べて創造的であるとは考えておらず、自分達が上の世代よりも創造的であると考えているグローバルのZ世代と大きな違いが見られる。

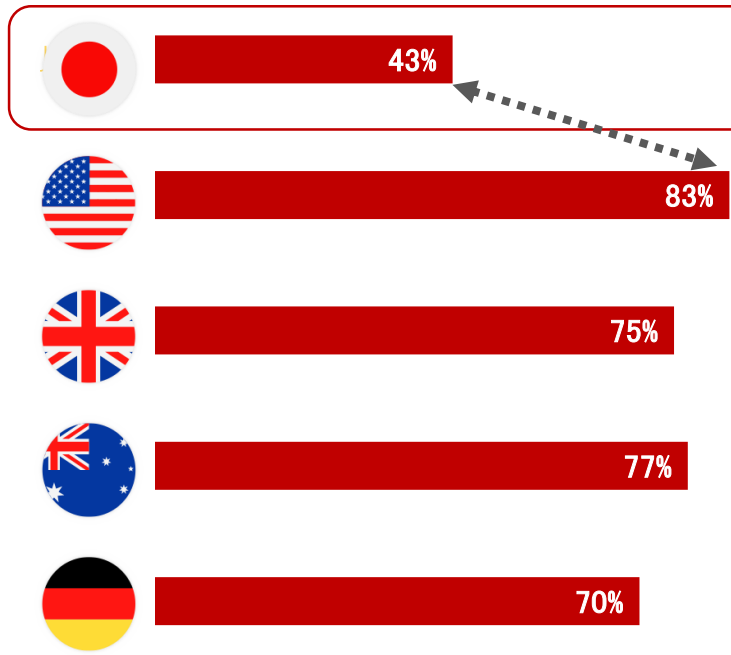
上の世代と比較したZ世代の創造性



更に、日本のZ世代はグローバルの同世代に比べ、「将来何かを作る仕事をしている」と考える割合が低く、「創造性が求められる仕事は一握り」とあると捉えていることから、「創造的」であることは特別なこと、限られた人のことであると考えている可能性が高い。

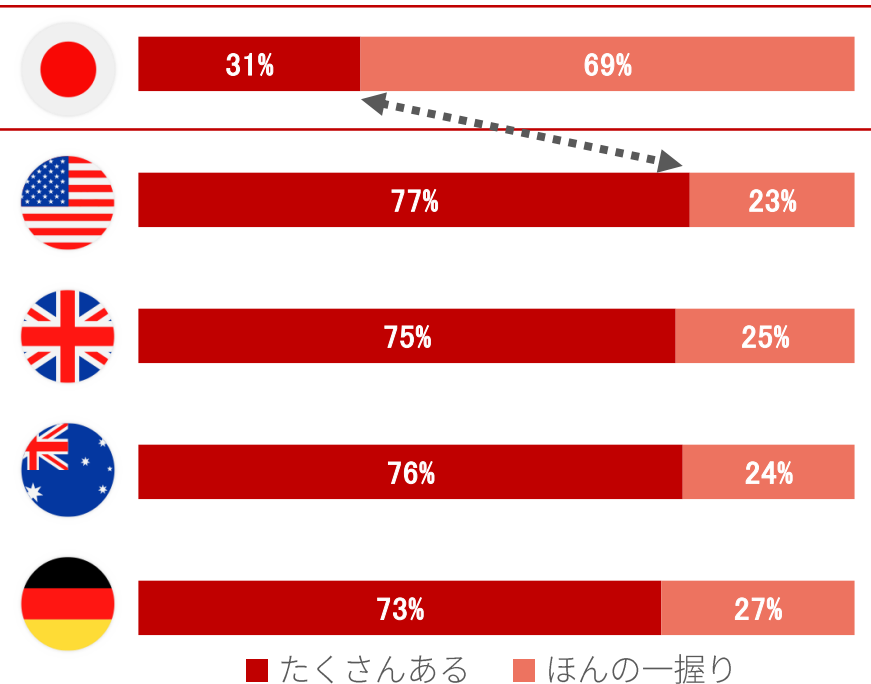
Z世代の将来の仕事に対する受け止め方
(「やや当てはまる」、「よく当てはまる」を選んだ生徒の割合)

「将来何かを作る仕事をしていると思う」



創造性が求められる仕事に対する認識
(生徒のみ回答)

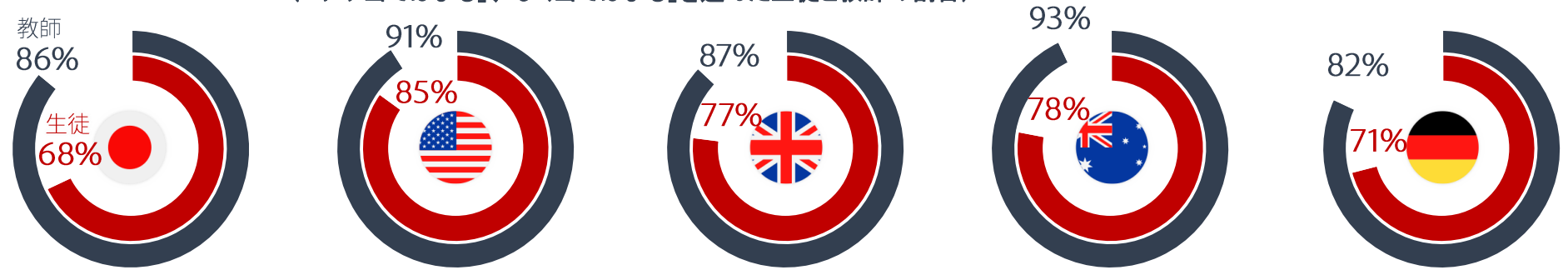
「創造性が求められる仕事や職業はたくさんある」



一方で、日本でもグローバルと同様に、創造性は将来の成功において重要であると捉えられており、Z世代の生徒と教師いずれも、「授業では創造性をより重視すべき」とであると認識している。

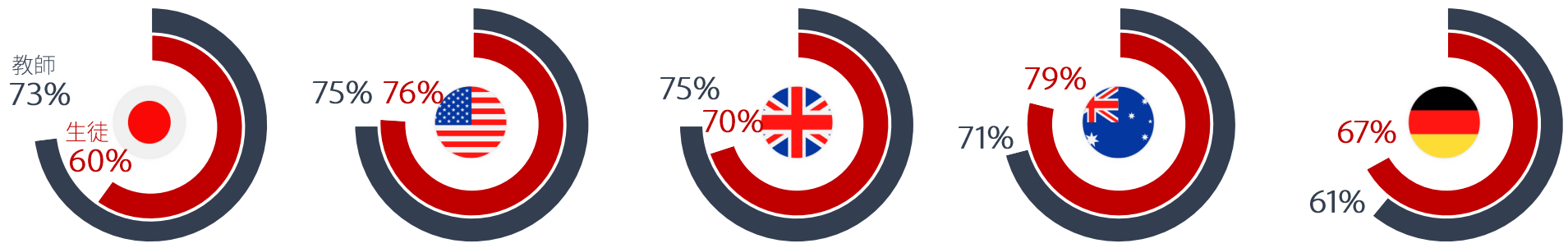
Z世代の将来の仕事に対する受け止め方 (「やや当てはまる」、「よく当てはまる」を選んだ生徒と教師の割合)

創造的になることは、将来成功するうえで欠かせないことだ



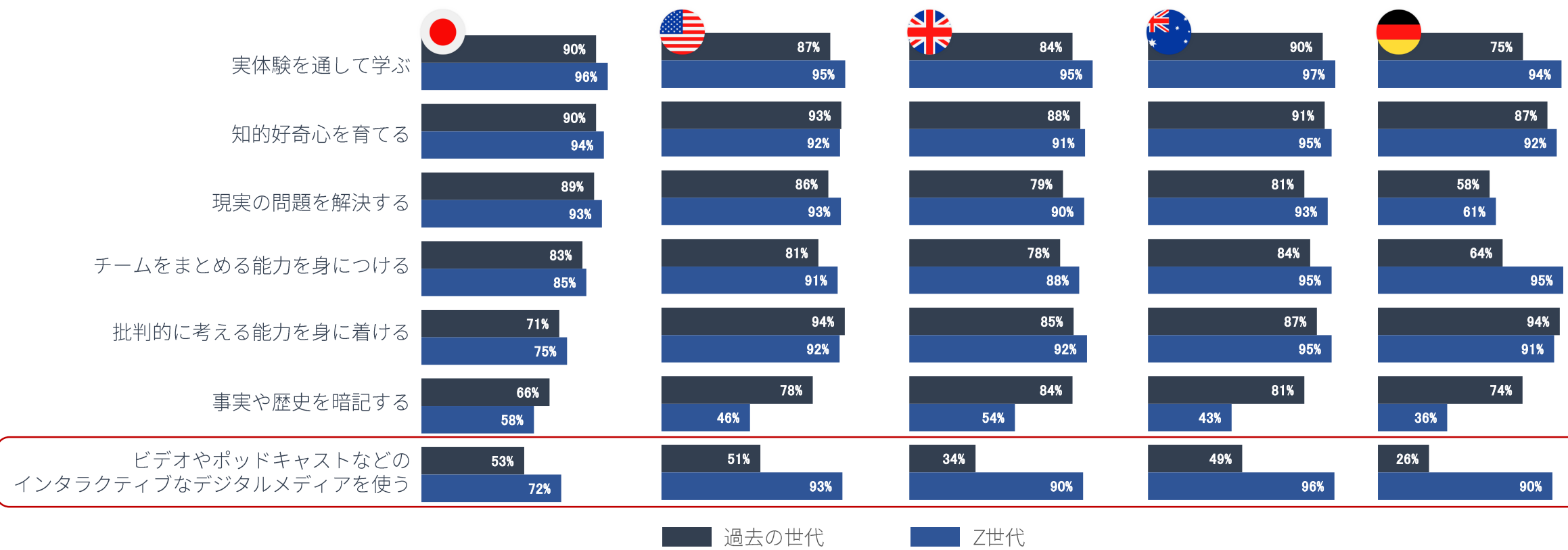
教室における創造性について (「やや当てはまる」、「よく当てはまる」を選んだ生徒と教師の割合)

授業/カリキュラムでは創造性をもっと重視したらよいのと思う



また、日本とグローバルの教師はいずれも、Z世代の指導には事実の暗記といった従来の学習法よりも、インタラクティブなツールの使用が重要であると考えている。

Z世代と過去の世代の学習方法における優先度（「やや重要」、「とても重要」を選んだ教師の割合）



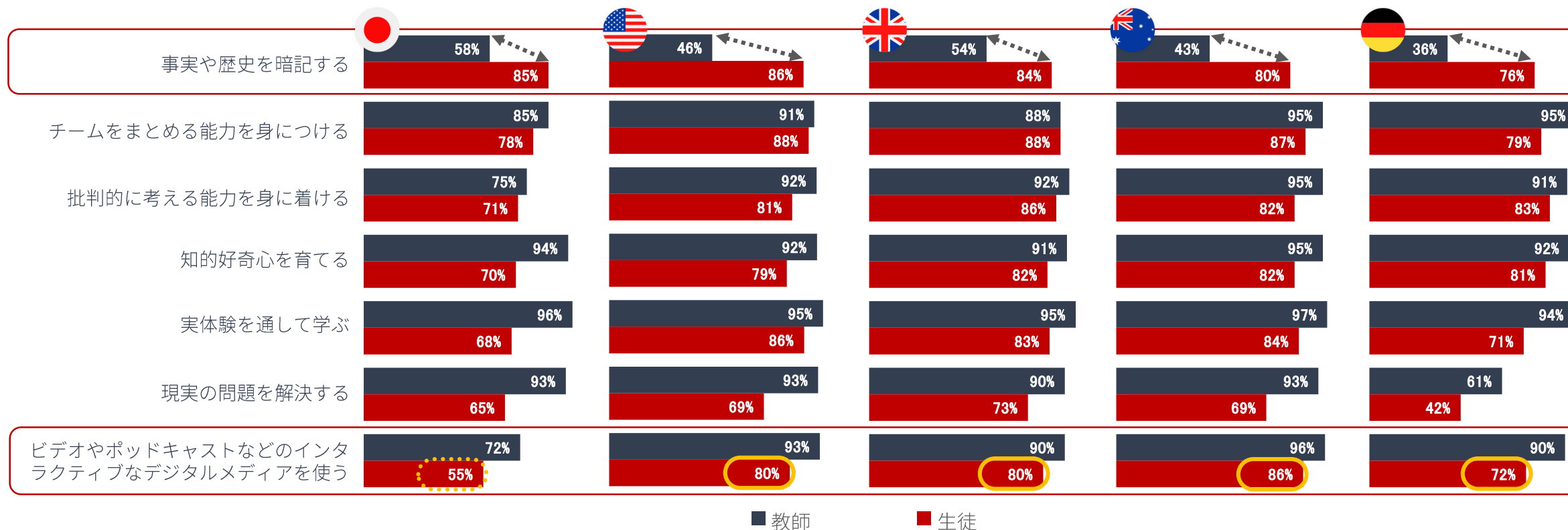
Q17：以下は、さまざまな教育に関する重要事項のリストです。過去の世代の生徒の指導において、以下のそれぞれの項目はどの程度重要でしたか？（単一回答）

Q18：現在、Z世代の生徒の指導において、以下のそれぞれの項目はどの程度重要ですか？（単一回答）

しかし、実際の学習方法は事実の暗記が中心であり、教師が考える学習方法の優先度と教室で行われている方法にはギャップがあることが伺える。また、インタラクティブなツールの使用において、日本はグローバルよりも低く留まる。

Z世代と過去の世代の学習方法における優先度/実際の学習方法

(「やや重要」、「とても重要」を選んだ教師の割合、「たまにある」、「いつも」を選んだ生徒の割合)

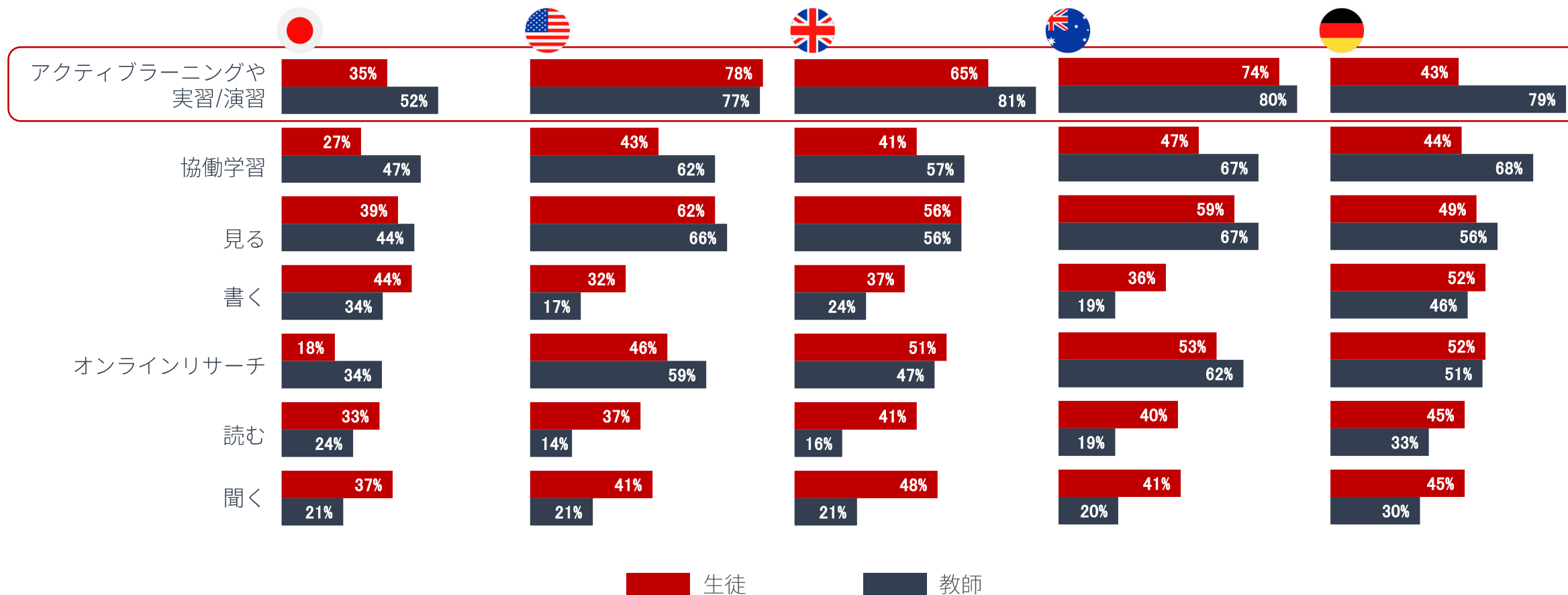


Q18 : 現在、Z世代の生徒の指導において、以下のそれぞれの項目はどの程度重要ですか？ (単一回答)

Q19 : 以下は、学校でできるさまざまな学習方法です。学校でのあなたの体験をもとにお答えください。次のような方法で勉強することはよくありますか？ (単一回答)






また、アクティブラーニングや実習/演習について効果的であると考えているものの、効果的であると考えている割合はグローバルに比べて低い。

Z世代に効果的な学習方法



卒業後の将来について、日本のZ世代は主に「不安な気持ち」であり、「ワクワクした気持ち」や「自信のある気持ち」が上位に来ている グローバルのZ世代とは対照的な結果となった。

Z卒業後の将来に対する気持ち
(生徒が選択した上位5項目を表示)

STUDENTS					
					
1	不安な気持ち 53%	ワクワクした気持ち 59%	緊張した気持ち 51%	ワクワクした気持ち 52%	自信のある気持ち 50%
2	緊張した気持ち 36%	緊張した気持ち 50%	ワクワクした気持ち 48%	緊張した気持ち 49%	ワクワクした気持ち 47%
3	ワクワクした気持ち 31%	興味津々な気持ち 43%	興味津々な気持ち 41%	興味津々な気持ち 39%	幸せな気持ち 31%
4	興味津々な気持ち 29%	幸せな気持ち 26%	不安な気持ち 26%	幸せな気持ち 27%	緊張した気持ち 26%
5	怖い気持ち 12%	自信のある気持ち 25%	怖い気持ち 20%	不安な気持ち 22%	不安な気持ち 25%

グローバルに比べ、日本のZ世代と教師は卒業後の将来に向けて準備ができていないと感じており、将来の展望についてあまり明確なビジョンを持っていない生徒が多数派であると思われる。

「卒業後の将来を考えたことがまだ無いため」
—生徒

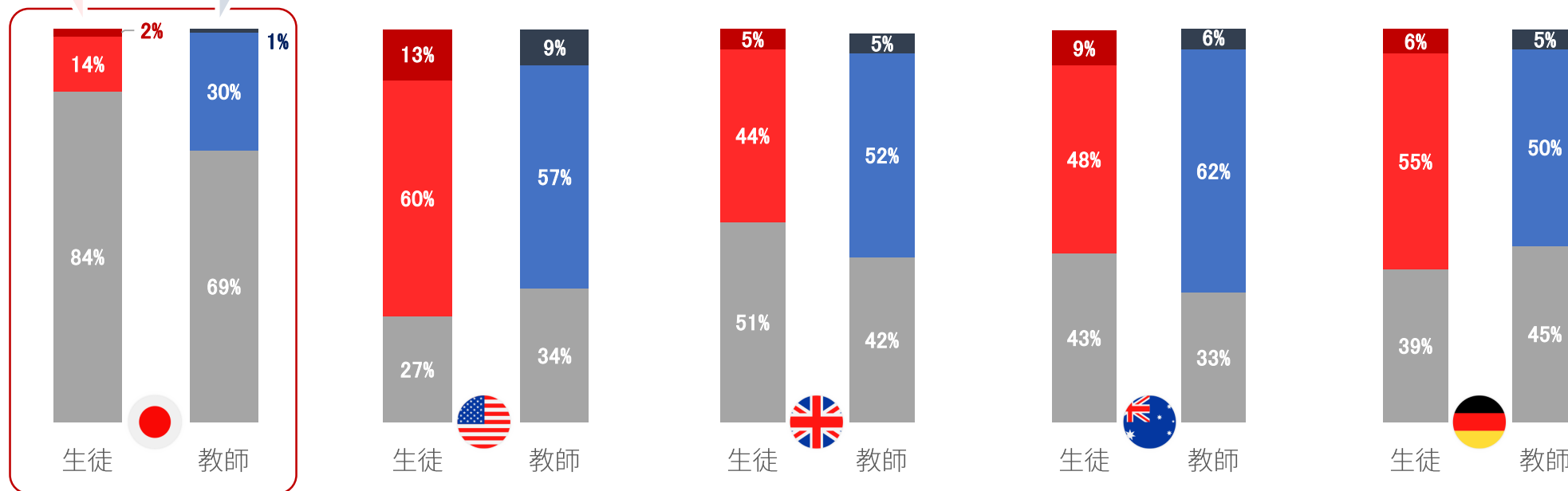
「自分の将来について考えている生徒が少ない」
—教師

将来への準備度合い

しっかりと準備ができています

ある程度準備ができています

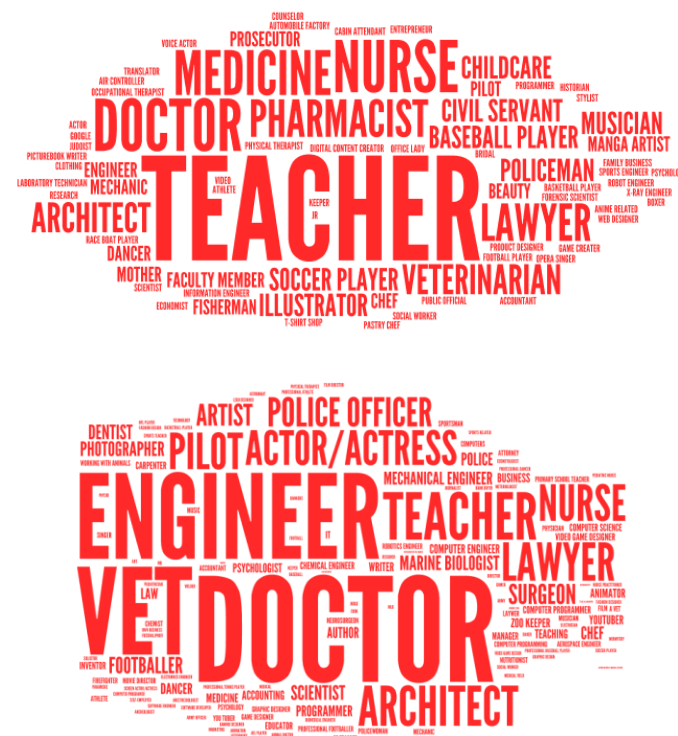
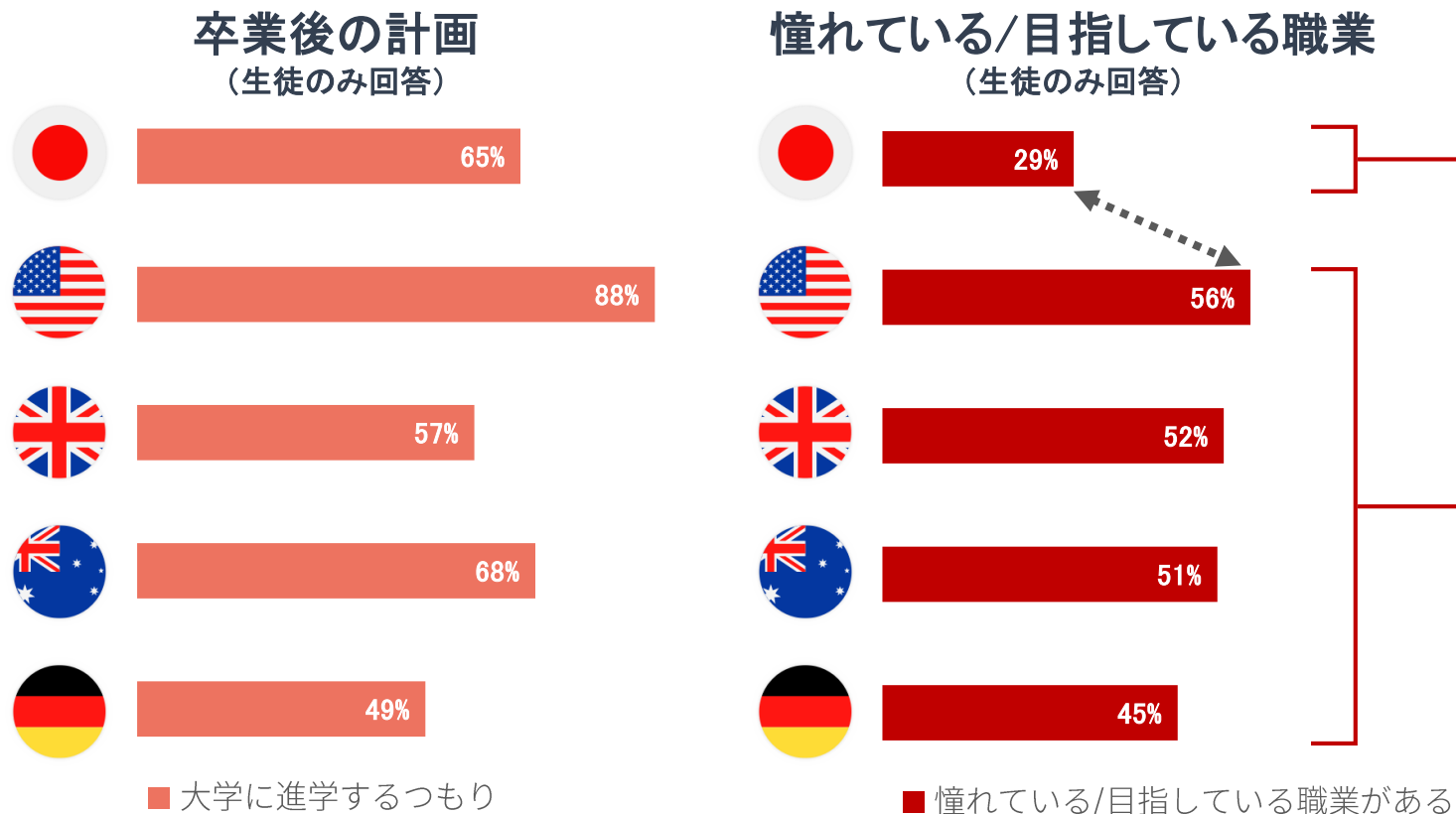
準備できていない



Q23：卒業後の将来に向けて、（あなた/生徒）はどれくらい準備ができていますか？（単一回答）

Q25：卒業後の将来に向けて、（あなた/生徒）が準備できていないと感じるのはなぜですか？（自由回答）

日本のZ世代における大学進学予定の割合はグローバルと同程度であるが、憧れている/目指している職業があると答えた割合は、グローバルを大きく下回る。また、憧れている/目指している職業についても、日本の場合は教師や看護師、薬剤師、といった保守的な職業が目立つ。



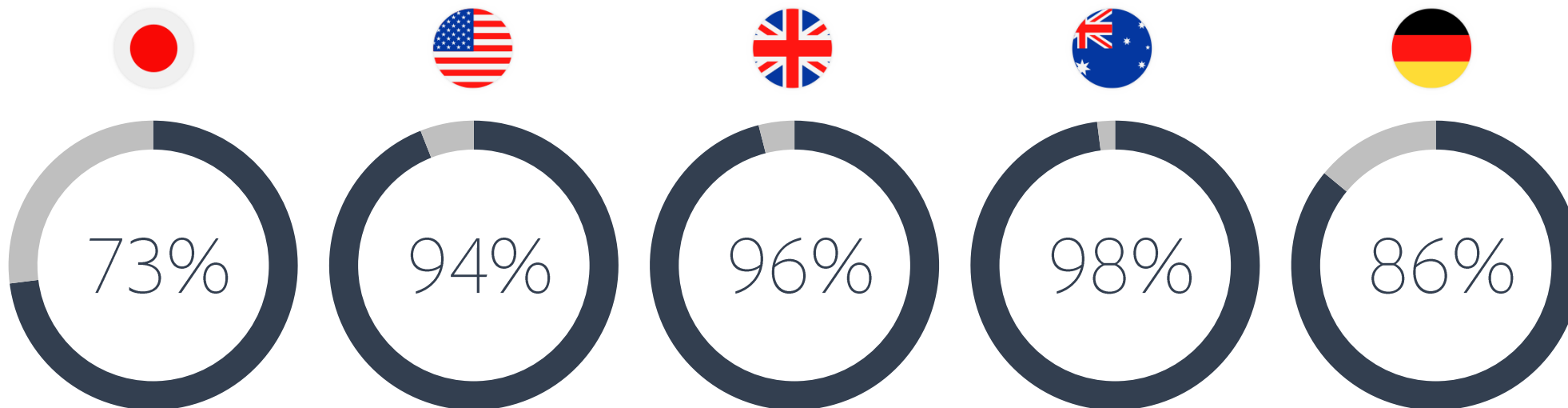
Q27：将来大学に進学するつもりですか？（単一回答）

Q28：憧れている/目指している職業はありますか？（単一回答、「はい」を選択した場合、具体的な職業を自由回答）

「自分の生徒は今から想像できないような仕事に就くだろう」と考えている教師の割合についても日本はグローバルを下回ることから、日本は生徒と教師いずれも、将来の仕事や今後社会で起こり得る変化に対して、やや保守的な見通しであると思われる。

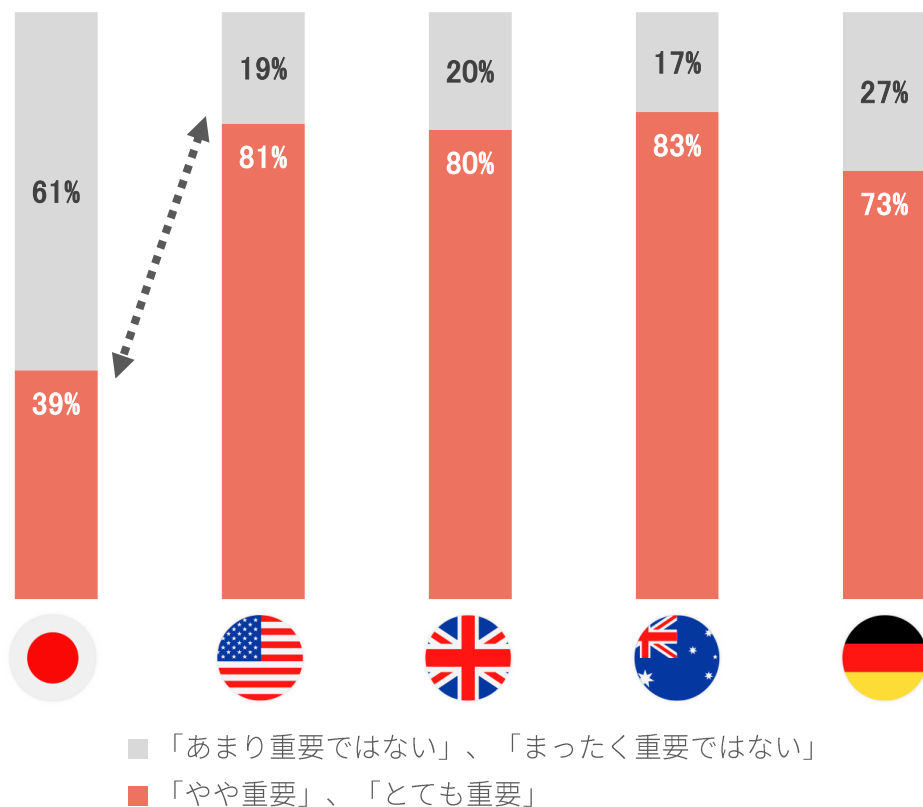
Z世代の将来の仕事に対する受け止め方
(「やや当てはまる」、「よく当てはまる」を選んだ教師の割合)

生徒たちはいつか、今は想像できないような仕事に就くことになると思う

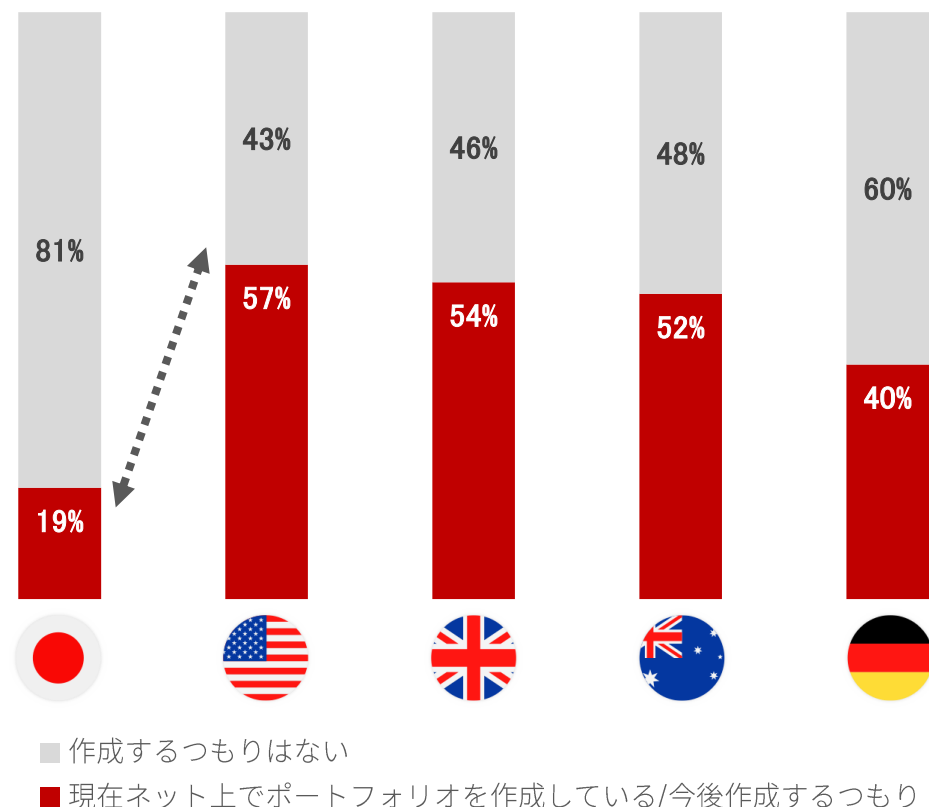


将来の就職におけるネットの重要性について、日本のZ世代の認識はグローバルの同世代を大きく下回り、現時点ではオンラインポートフォリオの作成に対する関心も低い。

将来の就職におけるネット上の行動の重要性



ネット上でのポートフォリオ作成状況



Q47：自分のネット上での行動や発言などが将来の就職先にどう思われるかを考えることは、あなたにとってどれぐらい重要ですか？（単一回答）

Q48：自分が個人的な作品をまとめたポートフォリオ（作品集）をネット上で作成していますか？あるいは今後作成するつもりですか？（単一回答）